

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。
広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。

わたしたちの町

人口(男) ... 4,642人
(女) ... 4,995人
合計 ... 9,637人
9月中の転入 ... 25人
転出 ... 25人
世帯数 ... 2,308世帯

(9月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和56年10月22日 第281号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

刈り入れ作業だけなわ

「最悪の凶作!!」とガックリ深刻な冷風害



町では十月十二日、役場内に冷害対策本部を設置しました。町の調べでは、冷害による減収は四十五%。二千八百十四トン。八億三千二百万円余りに及ぶものと見られています。さらに青米やくず米が多いため、十二日現在で一等米はゼロ。昨年の冷害を上まわる大冷害に、農家の表情は深刻です。今年は春先から天候不順が続き、各農家は「冷害予防」に真剣に取り組んできました。しかし八月二十三日の台風十五号によつて、町内全域の田んぼが大きな痛手を受け、収穫が進むにつれてその被害実態が明らかになりました。「経験したことのない大凶作」、「風の害の恐しさを初めて知らされた」。——コンバインの作業にも収穫の笑顔はうかびません。

収穫の秋

冷害・台風災害の対応に全力

町九月定期議会は九月二十二日から開会。冷害、台風と重なった農家被害への救援策などについて質疑が行われました。一般質問に答えて町長は、「町民体育館を五十年度をめどに完成させたい」と積極的な考えを明らかにし注目されました。

一般質問に答えて町長は、「町民体育館を五十年度をめどに完成させたい」と積極的な考えを明らかにし注目されました。

天災融資法適用を!

町長の行政報告から

今年の稻作は田植期からの異常低温、出穗期以降の極端な日照不足、台風十五号被害により収量の減と品質低下が目立ちます。昨年に続く冷害に対し、関係機関と協力し、対策に万全を尽くします。

台風十五号による農業被害は一億千万円を超えるものと予想されています。再生産に支障をきたさないよう天災融資法による資金の確保に全力をあげます。今年にはいつから災害は、農地五カ所、農業用施設二十一カ所、河川七カ所、道路十四カ所、文教施設三カ所などです。急を要するものから復旧を進めおり、一般家庭等の被害には個別に対処しています。

三位入賞の訓練成果をあげています。防火思想の徹底と防災活動の強化が図られることになります。昭和五十五年度決算は一般会計で六千四百八十八万四千九百二十円、国民健康保険事業特別会計で二千三百四十二万九千三百三十八円、合川診療所特別会計で七百二万九千二百九十五円の黒字になっています。

9月町議会

あなたも参加を!! 阿仁部交通安全の集い



講演・体験発表

アトラクション

猿倉人形

園児の演芸発表

婦人手踊りなど

とき

10月24日
午前11時半~

ところ

公立合川高校
体育館

自転車盗難・事務所荒らし
空き巣が多発しています。御用心!!

全国防犯運動実施中

町長日記から

積極的な転作への取り組みも、合わせ考えなければならぬことだ。
(義)

全体の問題となつた。郡、県と陳情しただけで査に出向いてもらつた。係官は予想以上の状況と把握して帰られたが、激甚災害対策本部は済金の支払、それに各種融資等農民の声を上部機関に訴えることになつた。町の冷害対策本部は、被害地帯と割合によかつた地帯に分かれたが、今年は全くなく、三等米が関の山である。昨年に続き二年連続の凶作となり、昨年は等米はほとんど反収五俵から六俵と平年の半作のほか、一、二等米はほとんどなく、三等米が遂に最悪の事態となつた。

稻の登熟は、農家の人たちの悲願にもかかわらず、脱水現象をおこした。

秋となつた。しかし、春以来の低温多雨と八月の風害でもまれ、脱水現象をおこした。

東地区簡易水道建設事業は、予定どおり進んでおり、十一月には試験給水。十二月一日から本給水の予定です。

五十三年度からすすめてきた

町民健康管理事業は、町民の協力によって着々と成果をあげています。検診率は年々向上し発症者の平均年齢は五十三年度六十五・五歳、五十四年度六十八・八歳、五十五年度六十八・九歳と伸びており、今建設中の保健センターが今後の活動に大きく役立つものと思います。

消防関係では広域消防合川分署に消防タンク車、広報車が配

補助金

○町一般会計補正予算
○教育委員の任命
○坂本園義氏の任期満了により
安部倉之助氏(増沢)を選任す
ることに同意

○施設設置条例
○町山村林業構造改善事業集会
○杉山田集会施設が九月十五日竣工したことにもなう条例
○町簡易水道設置条例の一部改

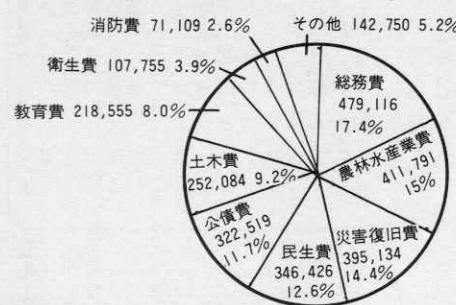
○農業振興費五百五十六万一千円、肉牛生産園地組合補助金九千七百十七万円、道路新設改良費千七百七十二万二千円、灾害復旧費三千八百八十八万八千円、土地取得費千五百四十四万円など二億九百九十四万八千円を追加しました。

一七五三

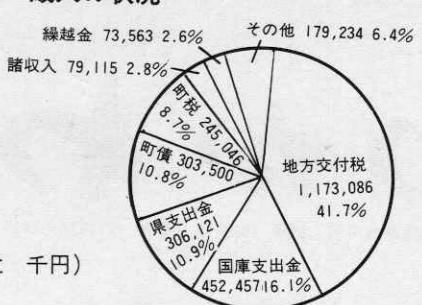
幼児から子供に変わる三歳、少年少女に変わる七歳。昔は、人別帳や氏子帳への登録が、生まれてすぐにではなく三、四年たつてから行われ、その披露の祭りが行なわれたところが各地にあります。また、年齢に応じてかかりやすい様々な病気もあります。食事の好き嫌いなどは幼児期のがなり早い段階から始まると言われます。

七五三は健康を願う厄年(やくどし)の第一

歳出の状況（目的別）

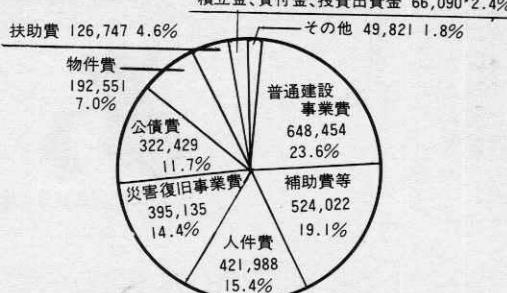
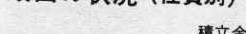


(単位 千円)



昭和55年度 合川町各会計歳入歳出決算総括表

会計別	予算額	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
一般会計	2,814,570,000	2,812,121,877	2,747,236,956	64,884,921
国民健康保険特別会計	460,515,000	482,410,461	458,981,123	23,429,338
合川診療所特別会計	141,888,000	145,859,044	138,837,749	7,021,295
簡易水道施設事業特別会計	61,413,000	59,126,642	59,126,642	0
簡易水道施設建設事業特別会計	261,986,000	261,815,831	261,815,831	0
合計	3,740,372,000	3,761,333,855	3,665,998,301	95,335,554



昭和五十五年度の合川町
各会計決算は九月定例町議
会で認定されました。

監査委員からは▽予算の
趣旨に添つており、住民生
活の安定に寄与している。

▽財源確保と健全財政保持
に務めた業績が認められる。

▽決算剩余金の相当額を積
み立てることが望ましい。

▽簡易水道の加入促進に努
力してほしい。などの意見
が述べられ、町財政は引き
続き健全財政が保たれてい
ると、報告されました。

五十五年度決算の状況を
グラフと表でお知らせしま
す。

55年度
各会計決算
総額九千五百三十三万
五千円の黒字です

